仙台駆け込み寺

No.17
2022年2月1日

いろは横丁相談室だより

新型コロナウィルス感染の急拡大をうけて2022年1月21日から当面の間、イロハ横丁相談室、石巻ハウス、閖上地区での相談員当番はお休み致します。相談者からはメール、ライン、留守電での受付を行っています。
（ホームページ、留守電メッセージ、相談室張り紙で案内）

元仙台市長の奥山美恵子さんが「ゆるっとおしゃべり原っぱ」を視察

1月26日に「仙台みどりと風の会」の元仙台市長奥山恵美子会長が仙台駆け込み寺を訪問して活動状況のヒアリングを行いました。又同会が主催する「市民活動応援賞」の副賞も届けて下さいました。





名取市のローカルFM局「なとらじ」が仙台駆け込み寺の活動を紹介します。1月24日、2月21日、3月21日の3回連続で相談員が出演して閖上での取り組みやゆるっとおしゃべり原っぱを説明します。
仙台駆け込み寺の活動を評価して下さった名取市市民活動支援センターの推薦です。

お花のボランティアさんに感謝

毎月定期的にいろは相談室のお花の植え替えや水やりをしてくださる人がいます。何も言わずにして下さいますが、花が変わっていたり水の跡で今日も来てくれたと気が付きます。本当にありがとうございます。



コラム　『得ることと失うこと』

年末年始、久しぶりに家族で食事に行った。とても穏やかで楽しい時間だった。
コロナ禍になってから、こうした機会が本当に減った。祖母が高齢ということもあり、あとどれだけこういう時間を過ごせるだろうかと、ふとした瞬間に考えてしまう。「次はいつ会えるだろうか」「次も会えるだろうか」と考えることは、少し前なら「縁起でもない」と冗談のように言われていた。だけど最近の情勢を見ていると、誰であってもどこにいても、いつ何が起こるかわからない時代になったと思う。幸せな時間を過ごすことと、それをある日突然失ってしまう可能性が同じくらいリアルに感じられる。
でも、だからこそ、今のこの瞬間がかけがえのないものであるということがわかる。悪い想像に心を支配されると不自由になるけれど、両面を見たうえでこのかけがえのなさを感じて、深く愛することができるなら、それはやっぱりとても幸せなことだと思う。

ようこ

1月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家族の問題	2件
・ストーカー	0件
・家庭内暴力	0件
・心の問題	8件
・仕事の問題	2件
・学校の問題	0件
・病気の問題	0件
・いじめ問題	0件
・引きこもり	1件
・恋愛問題	1件
・お金の問題	2件
・その他問題	2件
合計	18件

【年代別】

・10代	0件
・20代	4件
・30代	4件
・40代	4件
・50代	2件
・60代	3件
・70以上	1件
・不明	0件
合計	18件

【男女別】

・男性	8件
・女性	10件
合計	18件

１月のボランティア参加、寄付情報

【ボランティア参加人数】　40名
【寄付】　フードバンク石巻　茶菓子
ありがとうございました